

さとら・こうき
1978年藤沢町生まれ。04年に旧藤沢町自治会協議会が主催した地域防災リーダー養成研修を終了し、藤沢地域第24区自治会防災リーダーに。一関市消防本部消防長から消防・防災セミナー指導者の認定を受け、地域防災活動の中心的役割を担っている。

2011年3月11日、フィクションを凌駕するような惨劇が起きた。東日本大地震である。

巨大地震と大津波という自然災害に原発事故という社会災害が重なった国内史上最悪の大震災。事態は、従来の安全の常識を次々と覆し、「想定外」という言葉が流行語のように飛び交った。

当市もライフラインが寸断され、全域で停電や断水が続いた。こうした中、「自分のことは後回し」で被害の大きい沿岸被災地に駆けつけた人たちが

がいる。藤沢地域第24区自治会の防災リーダー佐藤幸生さんもその一人。地震発生後、自治会内を巡回して自治会員の安否を確認すると、15日には徳田地区自治会協議会の一員として軽トラックに物資を積み込み、宮城県気仙沼市や南三陸町へ向かった。

「気仙沼は妻の古里。南三陸は隣町。被害の大きい地域を支援するのは当然」ときっぱり。さらに、4月以降は、藤沢地域に避難してきた沿岸被災地の人たちを物心両面で支えている。佐藤さんは「三陸と内陸は一つ。支援と

いうより、復興へ向けて心を寄り添い、共に歩いて行くことが大事」と言う。

東日本大震災は、私たちの価値観を大きく変えた。多くの人が家族や地域の「絆」を再認識させられた。震災を機に、市民の安全・安心への意識や関心は目を追うことに高まっている。「想定外」を踏まえた災害に強いまち、災害に強いコミュニティの再構築が求められている。

新春に当たり、心を寄り添えるコミュニティ、共に生きていけるコミュニティの再生について考える。

Power OF COMMUNITY

新春特集★明日を開く地域の力



Contents Menu

- 02 Local Station シリーズ 駅
Vol.01 大船渡線「新月駅」
- 03 I(愛)な人 いちのせきを愛する人
三浦克男さん (柳懸石農産代表)
- 04 COVER STORY
千葉天斗君 舞川小6年
- 05 新春特集
Power OF COMMUNITY
明日を開く地域の力
- 18 NEWS HOTLINE
秋の叙勲を受章した皆さん／市立幼稚園の24年度園児を募集
／市がつくば市のKEKを視察
- 20 CITY TOPICS まちのトピックス
J R一関駅前イルミネーション点灯／花泉で障がい者スポーツ交流会／大東・高野長英興田顕彰会が小森塾を復元／千厩で震災復興支援シンポジウム／東山でげいびりカップフットサル大会／室根の上野洋子さんが厚労大臣表彰／川崎第1分団に最新型ポンプ車が交付／藤沢で芸協チャリティーショー
- 22 I-Style_square 市民の広場
笑顔でGOOD(松倉美芽さん)／キッズ写真館／ふれーふれークラブ(一関中)／ウチのこ自慢／図書館だより
- 24 第2特集
希望の賛歌 新垣勉コンサート
- 28 Health is Wealth 1月の健康コーナー
1月の健康情報／健康塾／元気のみみつ
- 30 NEWS & INFORMATION
博物館だより／掲示板／一関文化センター催し物案内／市営住宅など入居案内／募集／催し／講座／相談／お知らせ
- 34 PICK_UP
夫婦岩サミット／ワタノオト展
- 36 わたしの夢
佐藤梢真君 花泉小6年

いちのせきの広報誌

I-Style

いちのせきスタイル
2012年1月1日号
No.151



I-Style

COVER STORY

U-12で堂々の全国2位 陽光の先に夢見るオリンピック

市立舞川小6年の千葉天斗君。4歳から本格的に体操競技を始めて9年目の選手です。

11月、静岡市で開かれた全国ブロック選抜U-12体操競技選手権大会で種目別「ゆか」と「あん馬」で堂々の2位に輝きました。会場入りした瞬間、「うまい選手がたくさんいて緊張した。できることを精一杯やろうと思った」そう。鉄棒で失敗したものの、「失敗を恐れず思い切りやろう」と直後に臨んだ「ゆか」で9.700、「あん馬」で9.600の高得点をたたき出しました。



「夢は？」との質問に「体操でオリンピックに出たい」と澄んだ瞳で答える凛とした表情が印象的でした。

勝部修市長に報告に訪れた千葉天斗君(前列④)が所属する一関ジムキッズ体操クラブの選手たち。前列④は東北ジュニア体操競技・新体操選手権ジュニアBクラスで個人総合2位に入賞した千葉叶君(奥州市立衣里小5年)、⑤は同ジュニアCクラス種目別平行棒で3位に入賞した木村拓哉君(山目中2年)

岩手県一関市 Ichinoseki City

東北のほぼ中心、盛岡市と仙台市の間にある一関市は古くから岩手県南、宮城県北エリアの中核を担ってきました。2005年9月20日に一関市、花泉町、大東町、千厩町、東山町、室根村、川崎村の7市町村が合併し、'11年9月26日には藤沢町と合併し、「人と人、地域と地域が結び合い、未来輝く いちのせき」を目指して確かな歩みを進めています。



■面積 1,256.25km² ■人口 128,390人(男62,190人、女66,200人) ■世帯数 45,571戸 ■市花 なのはな ■市木 ぶな ■市鳥 うぐいす (以上2011年12月1日現在)

I-Style(いちのせきスタイル)は、岩手県一関市が発行する広報誌です。中東北の拠点都市を目指して独自のスタイルで前進する誇り高きいちのせき(Ichinoseki)のインプレッション(Impression=感動)、インテリジェンス(Intelligence=知的情報)とインフォメーション(Information=お知らせ)を伝え、古里の魅力を、価値を、エネルギーを発信する情報誌です。1月1日号の印刷経費は1部32円です。本誌は一関市のホームページでもご覧になれます。旬な情報を画面でもお楽しみください。一関市ホームページ <http://www.city.ichinoseki.iwate.jp>